



市民の安心・安全を守る市の取り組み

問 防災安全 1 課 (☎ 027-321-1352)

集中豪雨や台風による土砂崩れや道路の冠水、河川の氾濫などの災害が、全国で毎年発生しています。こうした自然災害から市民を守るため、今年度も市内をくまなく点検する危険箇所総点検を実施。昨年度に引き続き、市内の小学生に防災学習を実施しました。さらに、自力で避難することができない人を対象に公用車やバスを使って手助けする取り組みなども行っています。今回号では、市が行う災害に備える取り組みについてお知らせします。

危険箇所総点検で、もしもの災害に子どもたちへの防災教育で、未来につながる電話で、市民の SOS に



備える

取り組み 1 危険箇所総点検

平成 26 年度から実施している「危険箇所総点検」。集中豪雨や台風などに備え、あらかじめ市内をくまなく点検し、必要な対策を講じるものです。

今年度は、5 月 20 日から 2 か月をかけて、河川や傾斜地などの水害・土砂災害の恐れがある危険箇所の他、小・中学校をはじめとする指定避難所周辺の危険箇所を点検。職員延べ 1,788 人を動員し、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、のり面の侵食などがないか、1,761 か所を確認します。

5 月 20 日には、一貫堀川^{いっかんぼり}の点検の様子を富岡賢治市長と地元の区長が視察。点検の結果、危険性が高い箇所については、早急に対応を行っていきます。

地元の区長さんに聞きました

南大類町区長 角田芳昭さん

今日、市の職員の方が川に入り丁寧に点検している様子を見て、とてもありがたいと感じました。このような細やかな配慮が、安心・安全な地域づくりに結びついていくと思います。



子どもたちには、大類という地域の、良い部分も現実的な部分も知ってほしいです。ぜひまた、今日の防災学習のような機会を設けてもらいたいですね。

取り組み 2 小学生を対象とした防災学習

今年度は、危険箇所総点検と併せて、大類小学校の 5 年生を対象とした防災学習を行いました。職員が解説しながら、河川点検の見学や点検中のドローン映像の確認などを実施。定期的に傾斜地や河川を点検することの必要性を説明しました。

市長は「集中豪雨などで被害が出ないように、毎年危険な場所を点検しています。このようなことを子どもたちに知ってもらうのは、防災意識を高めるためにも大切なこと。これを機に、おうちでも災害への備えについて話し合ってもらいたいですね」と話しました。

参加した児童は「今日防災の勉強をして、いざという時の避難場所を家族と確認しておきたいと思いました」と話してくれました。

職員が点検の様子などを YouTube で発信

河川・急傾斜地の点検の様子や、ドローンを活用した点検の様子などを市の YouTube 公式チャンネルで公開。若い世代にも危険箇所の点検をより身近に感じてもらい、防災への関心や意識を高めるきっかけをつくりたいです。



市の YouTube 公式チャンネル



職員の説明を真剣に聞く子どもたち

取り組み 3 公用車やバスで避難を手助け

避難が必要になった時、自力で避難することができない人は「高崎市の災害専用電話」に連絡してください。公用車やバスが迎えに行きます。本人でなくても、手助けが必要な人が周囲にいる場合は電話してください。



自力で避難することができない人は **高崎市の災害専用電話**

☎ 027-321-5000